

病害虫発生予報

第6号（9月予報）

令和2年8月28日

岐阜県病害虫防除所

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	9月予報	
			発生時期	発生量
水稻	穂いもち	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや多
	ツマグロヨコバイ	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや少
	トビイロウンカ	栽培地域全域	平年並	多
	斑点米カメムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	多
大豆	カメムシ類	栽培地域全域	—	多
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	平年並
かき	ハマキムシ類	岐阜・西濃地域	早	やや多
		中濃地域		少
なし	黒星病	栽培地域全域	—	やや多
果樹類	果樹カメムシ類	栽培地域全域	—	多
夏秋トマト	灰色かび病	中濃、東濃、飛騨地域	—	やや多
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	—	平年並
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	やや少
	タバコガ類 (キクを含む)	栽培地域全域	平年並	少
	アザミウマ類	栽培地域全域	—	少
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	—	多

※発生時期の—は連続発生

【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産消費安全技術センター）
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

【発生予報・根拠・注意事項等】

I 普通作物

1 水稻

穂いもち	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並（9月第3半旬頃）	やや多

- (1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（+）、少くなる要因を（-）で表記）
- ア 中晩生種の出穂期は、平年並と予想される。
 - イ 葉いもちの発生ほ場率は、岐阜・西濃、中濃及び東濃地域で高く（+）、飛騨地域ではやや低かった（-）。葉いもちの上位葉での発病は、岐阜・西濃、中濃及び東濃地域でやや多～多かった（+）。
 - ウ 穂いもち発生ほ場率は、岐阜・西濃、飛騨地域で低く（-）、中濃、東濃地域で高かった（+）。
 - エ 向こう1ヶ月（8/29～9/28）の気象予報によれば、気温は高く（-）、降水量は平年並（±）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
- ア 出穂期以降の多雨は、本病の発生を助長するので、葉いもち多発ほ場では特に注意する。

イ MBI-D(カルプロパミド、ジクロシメット、フェノキサニル等)剤に対する耐性菌が当県でも確認されているため、別系統の薬剤を使用する。また、QoI 剤に対する耐性菌が確認されているため、薬剤の選択に注意する。

※ 病害虫発生予察注意報第4号「イネいもち病」(令和2年7月22日)、病害虫図鑑「いもち病について」もあわせて参考にしてください。

ツマグロヨコバイ	対象地域	発生時期 <幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並(9月第2半旬頃)	やや少

(1) 予報の根拠

ア 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で少なく(－)、中濃地域が多かった(+)。

イ ほ場での発生量は、岐阜・西濃地域で少なく(－)、中濃地域が多かった(+)。

ウ 向こう1ヶ月(8/29～9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 地域による発生量の差が大きいので、発生状況に注意する。

※ 病害虫図鑑「水稻 ツマグロヨコバイについて」もあわせて参考にしてください。

トビイロウンカ	対象地域	発生時期 <幼虫・成虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並	多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯での誘殺数は、多かった(+)。

イ 8月下旬までの調査では、岐阜・西濃地域、飛騨地域のほ場で発生が認められた(+)。

ウ 向こう1ヶ月(8/29～9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 今後の発生状況等について、「病害虫情報」等に注意する。

※ 病害虫図鑑「水稻 セジロウンカ・トビイロウンカについて」もあわせて参考にしてください。

斑点米カメムシ類	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	多

(1) 予報の根拠

ア 出穂期は、平年並と予想される。

イ 予察灯でのカスミカメ類の誘殺数は、岐阜・西濃地域のアカヒゲホソドリカスミカメでやや多く(+)、中濃地域のアカスジカスミカメで平年並であった(±)。

ウ 本田での発生は、クモヘリカメムシ、イネカメムシ等の大型カメムシ類が多く認められた(+)。

エ 向こう1ヶ月(8/29～9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 散布剤による防除は、穂揃期及びその7～10日後の2回を基本とする。

イ 粒剤による防除は出穂期の7～10日後が基本となる。ただし、剤によっては施用時期が異なるため注意する。

※ 病害虫発生予察注意報第3号「水稻：斑点米カメムシ類」(令和2年7月22日)、病害虫図鑑「斑点米カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 大豆

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯への初飛来は、岐阜・西濃地域で早かった(+)。

イ 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域が多かった(+)。

ウ 向こう1ヶ月(8/29～9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 雑草が多い地域や山間地など、地域、ほ場によって発生状況が異なるため注意する。

イ 播種が遅れたほ場については、防除時期に注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃地域で平年並であった(±)。

イ 向こう1ヶ月(8/29~9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

イ フェロモントラップを設置してモニタリングしているほ場では、今後の誘殺数に十分注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

II 果樹等作物

1 かき

ハマキムシ類	対象地域	発生時期<第4世代幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃地域	早(9月第6半旬頃)	やや多
	中濃地域		少

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける第2世代成虫の誘殺最盛期は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキで早かったが、中濃地域のチャハマキではまだ認められていない。

イ フェロモントラップにおける第2世代成虫誘殺数は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキで平年並(±)、中濃地域のチャハマキではやや少なかった(-)。

ウ ほ場での第3世代幼虫被害果率は、低かった(-)。

エ 向こう1ヶ月(8/29~9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ヘタ部やつづりあわせた葉内などに生息するため、薬剤防除はていねいに行う。

※ 病害虫図鑑「かき ハマキムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 発病葉率は高かった(+)

イ 岐阜・西濃地域における発病果率は、平年並であった(±)。

ウ 向こう1ヶ月(8/29~9/28)の気象予報によれば、気温は高く(-)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 多発園では秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。

※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

3 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯における成虫誘殺数は、多かった(+)

イ 岐阜・西濃、中濃地域におけるかきの被害果率は高く(+)、飛騨地域におけるりんごの被害果率は高かった(+)

ウ 向こう1ヶ月(8/29~9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 気温、湿度が高く、風が弱い夜間に飛来が多くなるので注意する。

※ 病害虫発生予察注意報第1号「果樹カメムシ類」(令和2年5月27日)及び第6号「果樹カメムシ類」(令和2年8月5日)、病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

Ⅲ 野菜

1 夏秋トマト

灰色かび病	対象地域	発生量
	中濃、東濃、飛騨地域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 8月下旬調査時の発病果率は、中濃、東濃地域で低く(-)、飛騨地域でやや低かった(-)。

イ 発病株率は、高かった(+)

ウ 向こう1ヶ月(8/29~9/28)の気象予報によれば、気温は高く(-)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤耐性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫発生予察注意報第5号「トマト灰色かび病」(令和2年7月31日)、病害虫図鑑「トマト 灰色かび病について」もあわせて参考にしてください。

2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア 黄色水盤での誘殺数は、中濃地域で少なく(-)、岐阜・西濃、飛騨地域で平年並(±)、東濃地域で多かった(+)

イ ほ場での発生は、少なかった(-)

ウ 向こう1ヶ月(8/29~9/28)の気象予報によれば、気温は高く(-)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップの誘殺数は、岐阜・西濃地域でやや少なく(-)、中濃地域で平年並(±)、東濃地域で多かった(+)

イ サトイモでの発生は少なかった(-)

イ 向こう1ヶ月(8/29~9/28)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並(±)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類 (野菜類・キク)	対象地域	発生時期 <若齢幼虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並 (9月第2半旬頃)	少

(1) 予報の根拠

ア 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺時期は、東濃、飛騨地域で平年並であった(±)。

イ 野菜類のフェロモントラップにおける誘殺数は、少なかった(-)。

ウ キクのフェロモントラップにおける誘殺数は、中濃地域で少なかった（－）。

オ 向こう1ヶ月（8/29～9/28）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

アザミウマ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	少

(1) 予報の根拠

ア なすほ場での発生は、岐阜・西濃、東濃地域で少なく（－）、中濃地域で多かった（＋）。

イ 向こう1ヶ月（8/29～9/28）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「キュウリ ミナミキイロアザミウマについて」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	多

(1) 予報の根拠

ア 岐阜・西濃地域のトマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、多かった（＋）。

イ 向こう1ヶ月（8/29～9/28）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 発生はほ場ごとに差があるため、ほ場内をよく観察し発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

[参考資料1]

【8月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：8月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
水稲	穂いもち	少	多	多	少
	紋枯病	平年並	少	平年並	やや多
	ツマグロヨコバイ	少	多	－	－
	セジロウンカ	多	多	やや多	やや多
	トビイロウンカ	多	多	多	多
	斑点米カメムシ類	やや多	やや多	－	－
大豆	カメムシ類	多	－	－	－
	ハスモンヨトウ	平年並	－	－	－
かき	ハマキムシ類	平年並	やや少	－	－
	カキノヘタムシガ	少	－	－	－
なし	黒星病	多	多	－	－
果樹共通	果樹カメムシ類	多	多	多	多
夏秋トマト	灰色かび病	－	多	多	多
野菜一般	アブラムシ類	平年並	少	多	平年並
	ハスモンヨトウ	やや少	平年並	多	－
	タバコガ類	－	少	少	少

	アザミウマ類	少	多	少	—
施設野菜	コナジラミ類	多	—	—	—

※調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料 2]

【東海地方 1 か月気象予報】 (抜粋) 名古屋地方気象台 令和 2 年 8 月 2 7 日発表

《予想される向こう 1 カ月の天候 (8 月 2 9 日から 9 月 2 8 日)》

- ・天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・向こう 1 か月の平均気温は、高い確率 80% です。
- ・週別の気温は、1 週目は、高い確率 80% です。2 週目は、高い確率 80% です。3～4 週目は、高い確率 60% です。

[向こう 1 ヶ月の気温、降水量、日照時間の各等級の確率 (%)]

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
平均気温	10	10	80
降水量	30	30	40
日照時間	40	30	30

[気温経過の各階級の確率 (%)]

	低い	平年並	高い
(1 週目) 8/29～9/4	10	10	80
(2 週目) 9/5～9/11	10	10	80
(3～4 週目) 9/12～25	10	30	60

[参考資料 3]

《用語の基準と使用法》

- 1 半旬 月の 1～5 日を第 1 半旬、6～10 日を第 2 半旬と表す。
- 2 時期 平年並 平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い 平年値より 3～5 日早い。
やや遅い 平年値より 3～5 日遅い。
早い 平年値より 6 日以上早い。
遅い 平年値より 6 日以上遅い。
- 3 発生量 平年並 平年値を中心として、その値が ±20% 以内。
やや多い 平年値より、その値が 21～40% 多い。
やや少ない 平年値より、その値が 21～40% 少ない。
多い 平年値より、その値が 41% 以上多い。
少ない 平年値より、その値が 41% 以上少ない。
- 4 平年値 同一調査地点における過去 10 年間の値の平均値。

病虫害防除所ホームページに、病虫害発生予察調査データを公開しています。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_12100.html

主要な病虫害の防除上の注意事項等については、「病虫害図鑑」をご活用ください。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_63587.html